

わかば

わかば
秋号



今年の体育祭（芝公園にて）



目次	
会長挨拶	1
名誉会長挨拶	2
先生方近況	2
震災報告	3
支部連絡先	3
告知板	4
ひろがれワカバのわ	5
音信	8
OB会連絡先	10
特集・同窓生の活躍	11
総会報告	14
決算・予算	14
委員会報告	14
理事会等報告	15
追悼	15
事務所だより	16

わかば秋号発行に当って

ワカバ会会長 小野 純一



本年の春号で発表いたしましたワカバ会会報の年二回発行が実現し「わかば秋号」として会員の皆様のお手許にお送りすることができました。

これによって会と会員の皆様との意思の疎通を一層密接なものにするともに、会員からの情報や希望を数多く寄せていただき、それらを基に会の活動がさらに活性化することを図りたいとの期待をこめております。

申すまでもなく、ワカバ会は三田高校の同窓生のために存在する団体です。会員の皆様の親睦を図り、会員と共に活動し、もって母校である三田高校の発展に寄与することが、ワカバ会の目的です。

ワカバ会は、間もなく創立七十周年を迎えようとしております。

七十年という歴史のもとに、これからのワカバ会を、どのようなものにするか会員の皆様のご意見をいただき会員のため、母校のためになる同窓会にしたいと思っております。

新たに、「わかば秋号」を発行するに当って、会の各種行事等に対する会員の皆様の積極的な参加と、より一層力強いご協力をお願いする次第でございます。

いあいさつ



名誉会長
岡本 裕之

本年四月に着任しました岡本裕之と申します。

森山晴美前校長先生を初め、歴代の校長先生方の築き上げた三田高の伝統をしっかりとしつかりと守り発展させたいと思っております。よろしくご指導・援助の程お願い申し上げます。

赴任に当り、多くの方からご挨拶をいただきました。その中に三田高校卒業生の話題がたくさんあり、各界でご活躍されていることを実感しました。

本年度のPTA総会では、昭和四十三年卒の岡山陽子氏（専修大学講師）の講演（国際交流は家庭から）をいただきました。今後ともご協力の程よろしく願っています。

本校は国際理解教育を中心に特色ある学校づくりに取り組んでいます。今後、特色ある学校づくりに相応しい施設の充実も考えていかなければならないと思っております。ワカバ会の皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

先生方近況

英語 内山勉夫
北海道から沖縄までまわりました。今は海外の文明の発祥地、芸術の都を中心に歩いています。朝日カルチャーセンターの休み、(盆と暮)に廻っています。近くインドに行きます。

裁縫 菊池福
終戦と同時に生まれ故郷岩手に帰り、娘の家族と共に87歳の余生を楽しんでおります。皆様の御健康を御祈りいたします。

英語 神作博明
東洋女子短期大学欧米文化科学(流山市)に勤めています。学生は就職難で、落着いて勉強に専念できない状況もあるが、彼女達の勉強に役立つべく、微力を尽くしています。

物理 笠井純子
後樂園の前にある都立五雲高校にいます。今年の夏は秩父盆地で炎天下三十九度の下三日間地質調査を行いました。来年から地学を教える身となり目下苦勞しています。

数学 小栗洋
都立大森高校定時制の教頭になって、三年目を迎えました。生活のリズムにもすっかり慣れ、人なつこい生徒達に囲まれて、毎日の給食を楽しみに、元気に過ごしています。

教頭 井上清志
平成五年三月、本校を最後に定年退職して攻玉社に移り、いわゆる中高一貫教育の中で数学教育に従事しています。時には神奈川県下の史跡・古寺・花巡りや探鳥等に出かけています。

美術 長雄新一郎
十月に、念願のアトリエ・住居が完成します。(茨城・自由が丘)
これからは五百号の大作も可能となります。

遠路ものともせず、三田の教え子達も押しかけると言っております。

地歴 西山昭宣
都立神代高校で現役の教員ですから、三田在任中と変わりません。興味深く判りやすく、ついでに受験にも強い世界史の授業のネタの仕込みに、本を読んだり、旅をしたり、酒をのんだり。

数学 高橋進
私は今、白鷗高校を休職して、政府派遣で比国マニラにおります。日本と比国とのプロジェクトを推進する仕事で、フィリピン大学の数学教育スタッフのコンサルタントをしています。帰国は来年の四月になります。

教頭 高城重躬
北欧旅行で、ノールウェイ・ベルゲンのグリーグの家を訪れました。撮影禁止でしたが、昔、グリーグのピアノ協奏曲を演奏したといったら、彼愛用のピアノを写させてくれました。

生物 小泉文子
第六高女時代の最後に退職し、家庭の都合で地方小都市で暮らしていましたが、昨年四月に召出されて、普通土学園で馴れない学園長の仕事に腐心しております。撫子の記事に胸があつくなりました。

国語 戸田雅子
一九九五年四月から、三田高校の定時制勤務になりました。皆さまが母校へ立ち寄られた時にお目にかかれると楽しみにしております。

養護 二見たけ
専業主婦に精を出しております。二階に自分達夫婦、階下に子供の家族という二世帯住宅に住んでおります。中二と小四の孫娘が頻りにゆききしてくれ賑やかに暮らしております。

生物 八木澤昭
二十年間お世話になりました三田を定年退職して、早くも四年が過ぎようとしています。海城高校の講師をしています、今年

年はたのまれて攻玉社にも行っております。

体育 深澤真澄
昨年、東京都の派遣でアメリカ、カナダの学校を訪問し、大変勉強になりました。都立青山高校定時制に勤務し、結婚して妻と元気にやっております。ワカバ会のご発展と会員の皆様のご健康をお祈りします。

教頭 緑川佑介
私は現在、都立光丘高校に勤務しています。光丘高校は来年度から校舎の大改修工事が始まります。私の都立高校での最後の仕事と考え、忙しい日々を送っております。

校長 依田好雄
現在、東京銀行人事部で海外帰国子女の教育相談の仕事をしています。三年目になりますが、海外体験を生かすことの難しさとともに三田高校の素晴らしさを改めて感じています。

体育 宮畑栄夫
昭和29年以来37年間通い慣れた三田高校を平成4年3月に退職しました。今は水泳(日本泳法)一本にハマっております。体力の低下が思いの外早く来るのでうろたえています。

英語 石野恵美
昨年四月に移りました都立東高校で元気に勤務しております。現在改革中のため、仮設校舎での授業です。活発な生徒達に囲まれ、一年担任として慌ただしい毎日を送っています。

三田高校サマーセミナー開催

8月23・26日、於志賀高原
一年生84名、一年生26名、先生7名
勉強計画の原則は自学自習の十時間、合間に英数国の講座、進路講話が組まれ、入試への動機付け、勉強の補強と多様なニーズに合わせる配慮もなされた。この企画の成果に期待している。

震災報告

阪神大震災の関西支部より

15ウ 中井知恵子



突然の大地震、文字通り未曾有の大惨事となり、沢山の人の命と平穏な暮

らしを奪った、大変な一九九五年の幕開けとなりました。無気味な大きな揺れ、何が起こったのか声も出せず、ベッドの下に隙間に必死で体を詰込み恐怖だけの長い時間を感じました。何回もの余震にベッドの側に靴を揃え貴重品と非常カバンを出口に用意しましたが、グラグラと来たらすべて忘れて外に飛び出すだけが精一杯でした。大阪に住む私がこの有様ですから、激震地の方の物凄さは想像も及ばぬ事です。名簿を片手に電話を掛け始めましたが、運良く繋がる方、どうしても連絡が取れない方など、意地になって毎日掛け続けました。諦めかけた方が、避難先からお電話下さった時は本当にうれしゅうございました。ピアノが天井を破って飛び上がったとか、ゴォーと地鳴りが聞こえた瞬間、瓦礫

阪神大震災を体験して

7-7 加藤久子

どーんと、下から突上げるような衝撃で眠りから覚まされ、ぐらぐらという横揺れで、あっ地震!!と思った瞬間、物凄いい音がして真暗闇の停電でした。

幸にも、主人も私も無事でした。ほんの何秒かの間に、食器棚、三面鏡、洗濯機等々が倒れ、食器やガラスが散乱し、醤油や油が流れ出て、大半の大きな家具は針金や紐で吊ってあったので倒れなかったのですが、家の中は一瞬どうしたらよいかわからない位でした。

電気だけは一時間程で点き、後々助かりましたが、水もガスも出ない生活が一月半続きました。水では大変苦労しました。当日はお風呂の残り湯があり助かりましたが、飲料水は近所の人に借りたポリ容器で小学校迄買いに行かねばなりません。道路は掘返しに様に至る所盛上ったり陥没したりして、歩くのも儘ならない状態でした。

この様な中で、私達は知らない人とも話をしたり情報を教え合ったりして、普段より助け合う気持ちが強くなっていました。又、電話とかお便りとか皆様が心配して励まして下さった事で大変勇気付けられました

支部連絡先

札幌	5エ	白居 和子	〒064	札幌市中央区南17条西12丁目	011-561-8810
東北	7ウ	寺嶋 辰代	〒981-04	宮城県桃生郡鳴瀬町野蒜字北赤崎32-7	0225-88-2028
浦和	18修オ	中村 泰子	〒336	浦和市前地3-5-12	048-885-7476
千葉	17-6	進藤英津子	〒261	千葉市美浜区磯辺6-6-10-304	043-277-3469
湘南	14イ	杉本 万与	〒247	鎌倉市岡本1022-10ラシェール鎌倉205	0467-44-8616
静岡	18修イ	田中 和子	〒420	静岡市五番町20	054-252-8831
名古屋	15イ	小林れい子	〒446	安城市池浦町池西206	0566-76-6819
関西	15ウ	中井知恵子	〒550	大阪市西区北堀江4-2-40-413	06-538-2135
京都	1D	米田 道子	〒615	京都市右京区西院東淳和院町33	075-311-2480
福岡	2E	富田やす子	〒813	福岡市東区香椎団地27-21	092-661-3616
大分	4-4	工藤 延子	〒870-02	大分市南春日町10-9 山下方	0975-43-3100

た。東京方面からも給水車が来て、水を運んで下さったのも、有難く感じられた事の一つでした。その他の面でも日本国中から、ボランティア活動や援助をしていただきました。皆様本当に有難うございました。

西宮でも少しずつ復旧は進んでいますが、近くの高速道路などは、元にもどるのに三年以上かかるそうです。私の住んでいるマンションは被害は少なかつた方ですが、修復はこれからです。けれど、人々の気持ちは震災後七か月たち、かなり落着きを取戻して来た様に思えます。これからも皆で力を合わせて頑張っていきたいと思っています。

先生や同窓の皆様方から温かな励ましを頂きましたことを心から御礼申し上げます。

阪神大震災では、多くのワカバ会員が被害にあわれました。関西支部長の中井知恵子さんが中心となって、被害状況の把握に力をつくして下さいました。本号には中井さんからのご報告と、被災されたワカバ会員二名のお便りを掲載いたします。一日も早い復興を、心よりお祈り申し上げます。

震災から半年

40-1 國司まゆ

あれから半年。もう半年。やっと半年。

あの日より、今日まで仕事場（コープこうべ）の混乱はおちついたものの、自宅近辺は未だおちつかず、日に日に、さら地が多くなる状況です。

当地、宝塚は、まだ被害の少ない方で、私が住んでいるマンションもひびこそ入ったものの、倒壊を免れ、そろそろ修理に入るといった感じですが、もっとも、水が出たのが二月半

ば、ガスが出たのが三月中旬という状態でしたので、震災体験はしっかりとさせてもらいました。川西の方の実家は、先ごろ猪名川群発地震のあった地域でしたので、六年間の東京生活の経験と相まって、少しはおどろいたようですが、一月十七日に関していえば、「あつめたな。」程度だったとのこと。対するこちらは、十一月に揃えたばかりの新婚の食器は全て割れ、私たち夫婦自身、当日三時すぎまで外に出られずの状況で、私も出勤したのは、翌日から、という感じでした。

近ごろになると、一体何が日常なのか、という状況で、全てが、あたり前の感覚になってしまい、ことさらに、震災を意識することも少なくなりました。しかし、大学時代行き慣れた神戸の街の惨状を耳に、目にするにつけ、悲しみがわきおこり、私自身、未だに神戸には、一度も足をふみ入れていない状況です。

この夏、所用があつて、東京へ八日間ほど行く機会がありました。そうすると、少し日常と、非日常を意識することはできました。

まだ、ここは非日常なのだと意識できた。そんな震災後、半年です。

告 知 板

◆第24回加藤恭二子ソプラノリサイタル

1995年11月17日（金）7時開演
こまばエミナース
連絡先 ワカバ会事務所（3451）0227

◆桐生郁子（4-1）独唱会

1995年12月20日（水）7時開演
津田ホール（千駄谷駅前）
連絡先 二期会（3796）4711

◆高校7回の同期会

昭和30年3月に卒業された皆さん。
卒業40周年を記念して同期会を開きます。
ぜひ御参加下さい。

期 日 平成8年1月27日（土）
17時～20時
会 場 ホテルメトロポリタン
TEL 03-3980-1111
会 費 12,000円
連絡先 7-2 中村左都子 TEL 03-3481-0823
7-3 齋藤 節子 TEL 03-3451-0227
（ワカバ会内）

◆ゲームを楽しむ会（第3回麻雀）

企画委員会主催
期 日 平成8年1月18日（木）
午後6：30～9：30
場 所 日本健康麻雀協会本部
（渋谷ユニ道玄坂ビル4F）
定 員 40名（10卓）
参加費 4,000円（食事・賞品付）
申 込 12月15日（金）までにワカバ会事務所に
電話又はFAXで。



滝桜と会津古寺めぐり

17才 松本惇子

花の賑わいも消えた二十日上野よりマ
イクロバスで常磐道を北へ。先ずいわき
市の石炭化石館を見学する。次に訪れた
白水阿弥陀堂はなだらかな山懷に抱かれ
いかにも女性（藤原清衡の娘）が建立し
た優しい御堂で、広大な庭園は萌え出た
若葉と濃淡の桜や花々に囲まれ、まさに
極楽浄土そのものである。いよいよ三春
の滝桜見物へ。樹齡千年と言われる大木
が垂れた枝から滝がほとばしる様に無数
の花をつけ壮観である。夜は磐梯熱海温
泉でくつろぐ。翌日は熊野神社。会津の
古寺を訪ねる。平安時代空海、学僧徳一
により佛教文化の根が下ろされた会津は
名利も多く恵日寺、願成寺、円蔵寺、立
木観音、勝常寺等数多くの佛像が長い年
月紆余曲折を経て祭られている。宇内薬
師堂は僅か十戸の村人に見守られてきた
という。伊佐須美神社から宮川の河原に
出ると咲き競う千本桜、かなたには雪に
おおわれた飯豊の山々、すばらしい眺め
である。夜は芦の牧温泉に泊まる。三日
目江戸時代の宿場「大内宿」を訪ねトチ
の実餅をいただく。溪谷美で知られる
「塔の姥」で記念撮影し帰途につく。今
回は晴天に恵まれ笠原先生のご案内によ
り静かな古寺社を尋ね、満開の桜を心ゆ
く迄味わうことの出来たすばらしい旅だ
った。

遙々福岡から参加された中村静子さん
(2-3) が旅行の二か月後亡くなられ



ました。旅の途中時々お苦しそうでした
が笑顔を忘れず、同窓生の暖かいいたわ
りを受けられ最後の春を満喫なさってい
た姿が忘れられません。

心から御冥福をお祈り申し上げます。

(平成六年四月実施)

吉野蔵王堂鬼火の祭典・興福寺の鬼追

19-1 小澤敏子

吉野は初めて。桜に覆われる頃の美し
さも想像したが、人のいない二月の寺社
庭園の静寂は却って味わい深かった。

蔵王堂の鬼火の祭典は、山武士の説
経・螺貝・錫杖の音と戸外の護摩焚の白
煙の勢力が勇壮で、五匹の鬼が厄を追
い払うユニークで庶民的な行事だった。

夜の奈良興福寺はライトアップの五重
塔。本堂から三千人の人波への豆撒きで
節分の雰囲気満喫。その後、春日大社
の参道の両脇に並ぶ数知れない献燈と石
灯籠に照らされ、閉門直前の本殿へ。千



余りの釣燈籠の灯に息をのむ。個々に語りかけた思いを残し、宿への帰路についた。

駆け足ですごした一日半のできごと、旅の先々での会員皆様の暖かさ、時と共に思い出の頁に広がってきている。

(平成七年二月実施)

那須・茶臼岳(烏山鮎狩り)

14-7 野本敏子

秋の那須周辺自然と歴史探索は生憎の曇り空で始まりましたが、程々の降りがかえって幸いし、のんびり平日の旅を楽しみました。まずは栃木県烏山の竜門の滝。町中にある滝としては最大級だそうで、高さ二十メートル、幅六五メートルの大滝です。雨模様なので人影もなく、滝の迫力と清流はなかなかの風情で、当地では関東の嵐山と呼んでいるそうです。この辺は観光客が有名だそうで、那珂川の河畔で鮎の昼食をいただきました。鮎づくしの昼食には馬頭町の医師で、二十六回生の木村さんが加わるはずでしたがが急用で参加できなくなり残念でした。その節の差し入れ、この紙面をかりてお礼申し上げます。昼食後は黒羽の大雄寺と雲岩寺の参観です。大雄寺は萱葺屋根の禅寺で、中庭を巡る回廊も萱葺でした。雲岩寺は老杉におおわれた古刹で、芭蕉もこの地に二週間滞在したそうです。二日目は天候不順で茶臼岳登山は中止。那須須一縁りの温泉神社と殺生石をひと巡りした後、大谷観音を参観しました。大谷石の壁面に彫られた千手観音は

平安初期の作で、かなり風化していますが大変立派な観音様でした。茶臼岳には登れませんでした。等原先生のご案内はいつもながら素晴らしく、また次回もよろしくと思う次第です。

(平成六年九月実施)

杉並歴史散歩

5-4 川上喜枝

5-5 塩田昌子

京王井の頭線西永福駅の改札を出ると駅前のベンチには知的な御婦人達がいらっしゃいました。ア！第六の先輩、まさにその通りでした。背筋がピンとして靴のサイズが大きくて、キリッとした顔立ち、そして年を感じさせない、それが第六タイプの御婦人達です。そして私達は、ハンサムな等原先生を先頭に晴れた秋の杉並歴史散歩に出かけました。町の片すみにひっそりと建つ理性寺には歴史の重みを感じ、七五三で賑わう大宮八幡は都内屈指の古い神社の風格があり、成宗白山神社の名は地名にゆかりが深く古き昔が偲ばれました。松の木遺跡、和田堀公園、済見台遺跡、郷土博物館等を見学し楽しい一日でした。

(平成六年十一月実施)

ゲームをたのしむ会・第2回 麻雀

7-2 中村左都子

昨年の「ゲームをたのしむ会」でとりあげた麻雀が好評で、今年は昼夜二部に分けて、昼の部20名、夜の部12名の方が

参加されました。今回は、(A)点数計算ができる。(B)ゲームは出来るが点数計算はできないという麻雀経験者を対象に、日本健康麻雀協会・ガラパゴス代表田嶋先生を講師にお迎えして、賑やかにたのしみ、食事を間にはさんでの熱戦でしたが、昼の部は高3成岡さんが優勝、2位高9吉田さん、3位に高10小泉さん。夜の部は高7菊本さんが優勝、2位高14岩井さん、3位高9吉田さんが入賞しました。

多くの方で麻雀を楽しんでいきたいと思っておりますので、是非ご参加を！

(平成六年八月実施)

等々力溪谷と九品仏

11-7 鈴木治子

六月梅雨の晴れ間に、私たち歴史探訪の一行は、等々力駅に集まった。

前日の雨で洗われた溪谷周辺は、鳥のさえずりもさわやかに、日頃の雑事を忘れさせる解放感があった。

まず訪れた薬王院金剛寺の静かな境内には、薬師堂があり、眼病と安産のためのお薬師様がまつられている。

等々力駅から南へ少し歩いて、螺旋階段を降りると、谷沢川の流れにそって道がつづく。「山には雲が深い谷には清い泉がふき出していた」、八百年前興教大師が夢のお告げでこの地に不動堂を建てたという、昔の深山幽谷の景色がしのばれた。

野毛大塚古墳跡を通り、九品仏駅から北へ五分の九品山浄真寺は、増上寺の別



院で、境内に元禄十一年建立の本堂・三仏堂が今も整っている。都内歴史跡再認識の楽しい一日でした。

(平成七年八月実施)

夏の夜の夢

18-1 渡辺富美子

三十年近く御無沙汰した母校。友人に行方不明者の名簿にあったわよ、と言われたのがワカバ会との再会のきっかけでした。そして会報が「コーラスの集い」のお知らせを…なつかしい加藤恭三先生のお名前が…。十数年の海外生活の後、義父母(九十と九十二才)と生活する者にとって「ひとときの夢を」それが本当の気持でした。山荘にタクシードで一人着き、瀧本先生のお顔を拝見した時は、正

親睦ゴルフコンペ

29-3 高橋裕幸

軽井沢での、私の毎年の楽しみは三つあります。一つ目は追分茶屋でそばを食べる事、二つ目は旧軽を散歩し鈴屋の二階でケーキを食べる事、そして何と言っても最大の楽しみは、この親睦ゴルフコンペです。

軽井沢72ゴルフで行われるこのコンペのどこが素晴らしいかというと、まず氣候が良いために多少のスコアの悪さは気



にならない事(あくまで多少ですが)、コースが素晴らしい事(女子オープン直後なので特に)、メンバーが良い事(親睦というくらいですから気楽にプレーできます)があげられます。プレー後にワカバ山荘に泊まれるのも魅力です。昨年9月におこなわれた11回大会は、ハンデにも恵まれて優勝する事ができました。今年もガンバルぞ!

(平成六年九月実施)

ヨガの集い

7-6 岩崎由利子

私達は職場でヨガを続けて十年位になります。或る時ワカバ会報でヨガの集いを知り四年連続で参加させて頂いておられます。素敵な千葉先生、愉快な杉本先輩にお会いし初対面からすぐに打ち解けて



何時も楽しい会となります。初めて参加の折クラスの方と卒業以来の対面、それも同室になり懐きのあまり夜通し話し込んでしまいました。又、雨の時は庭の草花や厨房からお借りして来た野菜等で絵手紙を書いたり、山荘を拠点にした軽井沢銀座の散策、白糸の滝、鬼押し出し、美術館めぐりとそれは楽しい思い出が一つ、またひとつとふえてゆきます。これからも積極的に参加したく思っておりますのでよろしくお願ひ申し上げます。人生のはじめおしまひ蝸牛

(八五歳の大先輩の方から三田OGのバリバリした方まで、母校を同じくする心は一つになって一とき、世のしがらみを忘れ乙女時代に還らせていただきました。それに加えて加藤先生の御指導の素晴らしい、第六時代からの伝統ある音楽教育が今でも脈々と流れていることを実感し、誇らしく思いました。皆さん、来年はおトシを返上してぜひ御参加を!

(平成七年七月実施)

コーラスのつどいに参加して

20ア 新井佐和子

七月二七日に軽井沢山荘で行われた「ワカバ会報と共に送られてきた案内の

「高校時代のようにご一緒に歌いませんか」のお誘い文言に、第六OGの私は気がおくれを感じながらの初参加でしたが、行ってみてそんなためらいは一ぺんに吹き飛んでしまいました。

第一回卒

実習口誌より

41-5 増田幸司

長いようで短かった教育実習がようやく終わった。今にして思い起こすと実習初日の前夜、期待と不安でよく寝つかなかったことが遠い昔のことのように思える。また、反対に初日のオリエンテーションからまだ二、三日しかたっていないようにも感じられる。しかし何はともあれこの二週間は今までの人生の中で非常に密度が高く充実した一コマであった。ホームルームでは、1年6組を担当した。白珠祭のクラスの出し物を決定する時期だったが、生徒たちが意欲的に発言してくれなくて、つい口を多くはさんでしまった。授業は、実習の初日から教壇に立たせていただいたが、最初は、緊張して生徒の顔を見る余裕もなく、自分では何を話したのか覚えていないくらいだったが、参観に来た他の実習生に聞くと「楽しそうに授業を進めていた」らしい。

音信



傘寿記念文集「あゆみ」

4イ

クラス幹事



昭和六年春、第六を卒業してから六十年余り。私は杉山先生を中心に、戦前、戦中、戦後今に至る迄一年に一度位の集りを続けて来ました。

人生の節目を

くぐり抜け、さてと思つたら八十才。傘寿記念に何かしたいと呼びかけ合つても悲しい哉、体力気力共に衰え、旅行は駄目、日帰りの遠出も無理、せめてお喋りの会をとお八芳園で開きました。九名出席。

年毎に不参の方も増えるので、各人の近況、昔語り、故人の思い出話等を書き集め、傘寿記念文集「あゆみ」を作り上げ、当日の集合写真を添えて全員に配りました。古き良き時代の第六魂はまだ皆の心に生き続

けています。御覧頂ければ幸い。

クラス会だより

9才

松木博子

平成六年五月十三日玉川高島屋六階特別



食堂に於いてクラス会を開きました。各自でメニューを選んで乾杯の後、昔の第六時代に帰り、お話し盛り上がり、健康法を御披露したり、いつまでも若い時のつ

もりで楽しく時の経つのを忘れる位でした。久しぶりに遠くから御出席下さった方もあり話は尽きません。卒業以来毎年、ある時は遠く関西迄足を延ばしたり、温泉へ小旅行もしたり楽しんで参りました。いよいよ、喜寿を迎え残り少ない貴重な会を座れない方にも御出頂ける様今年も同じ所です。たくさんの方々に目にかかり楽しいひとときでありたいと思います。

手作り作品展示即売会

15才

浜名柳子

平成六年十二月七、八日に十五回才組有志による古稀を記念しての

「手作り作品展」を銀座の

松崎画廊で行

いました。そ

れぞれの道で

プロの方もあ

りますが、殆どは趣味で作った品々で、知り合いの方



に見に来て頂き、出来れば買って頂こうというものです。出品者十八名、日本画、友禅染、鎌倉彫、織物、皮工芸、バック、アクセサリー、手作り食品、他沢山のすばらしい作品が出ました。飾りつけから販売など馴れない事に戸惑いながらも、皆で力を合わせて、学生時代に戻った様楽しさでした。好天に恵まれて、大勢の方が来て下さり、皆様方の御好意に支えられて、予想以上の盛会となりました。

クラス会だより

18ウ

蓮沼昌子

平成6年10月12日に18回旧ウ組の級会を開きました。お年のセイ(?)、かこの所、和食が続いたので今回はさっぱり中華で渋谷の聘珍樓に集まりました。物忘れや体の不調が出ると一方で健康の秘訣や運動を、又生きているのが披露等々その賑やかなこと、昔に返つてとても楽しい一刻でした。

でもその後11月21日に旧姓友松幸世さんの訃報に接し、親しい友を又一人見送る悲しさが身に伝えました。

終戦の年に巣立った私達は平成7年は卒業50周年に当り4月17日に同期会を開きます。一期一会を大切にしたいとしみじみ思っています。

同期会だより

18エ

西五辻静子

年明け早々の阪神淡路大震災の、甚大な被害に心を痛め、未だその復旧の目途も立たぬ三月に、地下鉄サリン事件などという途方もない犯行に端を発した関連の犯罪が次々報じられ、騒然とした世情の中、一抹の不安を抱きながら、四月十七日に卒業五十周年記念パーティーを開きました。

当日は穏やかな日和となり、開始時刻の二時間前前からもう三々五々集まり初め、控室では旧姓やら紳名で呼び合う聲が飛び交い、大賑わいとなりました。

都合で遅れるとお断りのあつた方を除き、八十四名定刻に集合、ともかく最初に記念撮影を、という提案が効を奏したか「皆いとお顔」の写真が手許に残る結果となったのは、御同慶の至りでした。会場に戻り各クラス毎の席に着き、先ず在校中お教えを受けた今は亡き諸先生方、及び旧友二十七名のお名前を読み上げ、その御冥福をお祈りし、献盃申上げて開宴致しました。昭和の年号と共にこの世に生を受け、小学四年の時に日支事変が始まり、第六に入学生したのは紀元二千六百年(今では死語ですが)翌年には大東亜戦争に突入、そして卒業した年に敗戦と、昭和史その仮に生きた様な私達には、想い出は懐かしい事ばかりではありません。然し、何事も元気に乗切る心は第六で培われた教育のお陰ではないかと思うのです。

丸山丈作校長先生は、戦時下にあつても御自分の教育理念を曲げる事なく「利口な人でなく賢い人になれ」「運動は競争する為でなく自分の健康の為」とか色々な言葉で人間が正しく歩む道をお示し下さいました。明るい校風の中で心豊かな教育を受け、沢山の良い友に恵まれて今日あるという幸せを、本心に有難く改めて感謝致しました。私達十八回生は戦時特例(?)で三年になる時、英語を習得する組としない組に分ける為の組替えがあり、更に四年修了で上級学校に進学した方が多数で、一組減してア組からエ組迄の四組に編成する組替えが再びあり、それで交友範囲が広がったという利点もあった様に思います。

今迄、入学時のクラス会とは別に、十八会として五年毎に同期会を楽しんで参りましたが、五十周年を以て一応幕を引く事に致しました。

これからは、お互いに健康で賢く、年を重ねて参りましょう。
有難うございました。

クラス会だより

22ア

荒木昌子



平成六年は高城先生御夫妻の結婚五十周年にあたりましたので大安吉日（五月十二日）をえらんでヘルシーなフランス料理で有名な銀座清月堂レストラン・リンタローに於いてお祝いを兼ねクラス会を開きました。

雨の中でしたが出席者は二十四名。

先生御夫妻

をお祝いする乾杯からはじまり先生がバリ島の骨董屋で求められた百年前の珍らしい四鍵盤・ガムランのお話や五十年前連れそわれた奥様から御家庭での先生の御様子等たのしく拝聴し最後には五十年前の学生時代に思いをはせながら第六高女の校歌を久しぶりに三番まで合唱してしまいまし

た。

二次会では先生のお嬢様が銀座八丁目までなさっていらつしやるクラブ・コロネルへ全員で伺いました。すてきな絵が沢山飾ってありピアノもある静かな雰囲気のお店でした。色々と御馳走になり又ひとしきりの楽しい会話が続きました。外はすっきり雨もあがり皆さんと再会をお約束して散会致しました。（幹事 白須賀、牧原、荒木）

同期会だより

2-2

平野和子



平成六年四月十六日、第六高女二十三回生、三田高校二回生の入学五十周年記念同期会を四谷弘済会館で開きました。

戦中、戦後の混乱期に青春を送った私達は今もや還暦を過ぎまし

た。当日は家庭科の秋山先生、生物の小泉先生（山田）音楽の西村先生（坂井）、図工の沼野先生の恩師方と自余名の皆様が出席なさいまして、秋山先生からは「第二、三田の生徒は颯爽としていてすぐわかる」とおほめの言葉をいただきました。でも先生方のお若さと活動力の豊かさは私達の驚歎に値する所です。

宴もたけなわになり誰れもがあの日の子学生にもどりの歓談のさわめきが大きくなってきました。校歌「讀えよ、若き命を！」

を全員で斉唱し「友達とワインは古いのが一番」と再会を約し閉会となり満開の八重桜のアーチの下を名残りつきない思い出に包まれ帰途につきました。

37年振りにクラス会

10-3

脇 治以



平成7年2月19日芝公園のメルパルク東京において、出席者27名に大角先生も御参加下さって、クラス会を持ちました。卒業以来初、37年振りの事です。実際のところ「自分の事を皆さんが分か

って下さるかしら？皆さん

の事を分るかしら？」と恐る恐る足を運んだ方も多かったようです。でも、お会いしてみれば「浦島太郎」とは反対で、少々イタミの出できた顔の中からもみるみる昔の面影が現れて、お互いすっかり若返りました。まず大角先生の愉快なお話に抱腹絶倒。後は昔話や今のお話に花が咲いてあつという間に時が過ぎてしまいました。会場を追い出されて二月にしては暖かな日差しの中、母校に立ち寄り、オセンチ山で写真撮ったりした後、名残を惜しみながら散会しました。永いブランクの後、クラス会を開くには仲々勇気が要りましたが、きつ

けを作って下さり、又色々お手伝い下さったワカバ会事務局の方々には感謝いたしております。

又、クラス会を開いていない方には、是非おやりになるようお勧めいたします。

高15回卒 同期会だより

15-5

曾我部房子

平成六年四月十六日、いつもと少しちがう浮々とした気分を外出。百十名程のなつかしい顔が、サテライトホテル後楽園に集まりました。卒業以来初の同期会です。小此木、寺尾、浜野、宮畑、諸先生方の御出席をいただき、三十一年という長い時の流れを忘れ、楽しく、にぎやかかひとときを過ごしました。

なお、この会を開くにあたり、ワカバ会事務局の御協力をいただき、ほぼ全員に連絡がとれましたこと、感謝致しております。十五回生としての最新の名簿も作成、配布することが出来ました。

九十四歳という年齢が嘘のように、シャキッとされた、小此木先生の耳に、輝いていたイヤリングが、とても素敵だと思いつつ、二次会へ、家路へついたら次第です。

クラス会だより

19-1

島田時子

平成六年十一月二十七日、二年振りに十九回一組のクラス会が開催されました。瀧本先生を開き、近頃話題の恵比須ガーデンプレイスに二十一人が集合しました。

当日は快晴にめぐまれ、三十八階の窓外に広がる展望に喉声をあげて、東京タワーを目印に、「あのあたりが三田高校ね。」と話はずみずみ。他クラスからの参加もあり、皆さんの日頃の活躍ぶりやハッラツと



平成六年六月十八日、横浜・石川町の洋風料理店で第十九回クラス会が開かれしました。多忙の土屋先生も時間を割いて駆け付けて下さっています。(この日は桜木町付近の沿線火災で交通に遅れが生じ、文字通り皆各々やっこの思いで駆け付けたのです。)間もなく近況報告、このおしゃべりが楽しい。先生のご活躍の話を始め、席の近い方とも話が弾み、あつという間に時間が来てしまします。情報交換にもなっているでしょう。

クラス会だより

26-2

倉林桂子



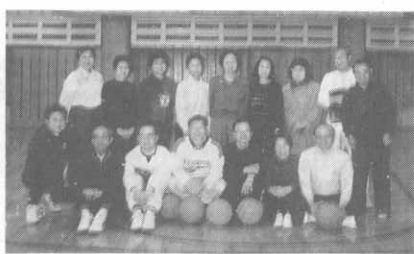
した様子に、お互いに励まし励まされたひと時でした。後日、戸田さんが皆さんの「一言集」をまとめて印刷してくださったので、欠席者を含めクラス全員に配布いたしました。

今回は、スペシャルゲスト(御子柴大介さん)をお招きしています。そして、次回にはクラスの枠を広げていきたいねと参加者一同願いを一つに致しました。

還暦バスケット合のこ

7-4

石井正紀



三筆会のこととは、「わがば」の第35号で紹介されたことがある。昭和27、31年卒業の、籠球部の集まりである。

その会で、どこで血迷ったか、バスケットボールの試合をしようということになり、今年の一月に実現した。そろそろ還暦という年代の集まりがである。

場所は、松戸市の聖徳大学体育館。なつかしのちようちんブルーマー姿こそ見られなかったが、さつそう(?)と集まった十数名のお歴々。

ゲームは、7分ハーフの予定で始まったが、結局、前半5分でドクターストップがかかり、後半は3分で終了。いや、笑っちゃいけない。サロンパスをスプレーしなから続行の熱戦だったのだから。

健康保険証まで用意しての大試合、無事に終わって、まずは何よりでした。

次は八月二十八日(日)に催される。予定ですので、奮ってご参加下さい。

河井輝一君を偲んで

9-6

神山英昭

桜花薫る春酣、喜びと期待に胸を膨らませて三田高校の校門を潜ったのは四十年ほど前の一九五四年の四月であった。二組の一員となり、席が決まった時、隣に座ったのが河井君であった。この時から彼の付き合いが始まった。以来三年間、クラス替えが有っても、何時も同じクラスで過ごした。その彼が一九五五年の一月二度と帰らぬ人となった。突然の訃報に遭遇し、多感な青春時代を共に過ごし、私にとって大切な友人の一人である彼を失ったことは痛恨の極みである。私は栃木県の足尾町という片田舎に生まれ育ったが、彼は東京生まれの東京育ち。そんな関係から仲間の楠美君としばしば河井家を訪れ、今は亡き二両親を始め、皆さんに家族同様な待遇を受け、大変世話になった。その時々、懐かしう走馬燈のように駆け巡っている。

人が集まるところ必然的にグループが生まれるが、我々のグループ仲間での彼は常に沈着冷静で、我々の行動について言葉少なであるが、その時々論議されたものである。そんな彼が慶応大学卒業後、日本ゼオンに就職し、同期生のなかで最初に部長に昇任したのもむべなるかなである。今、三田高時代や同窓会の写真を見ながら彼に話しかけているが、言葉は返ってこない。話したいことは山程ある。こんなに若くして昇天するなら、仕事で多忙な中を無理にでも引っ張り出して語り合いたかった。後悔しても始まらないが、衷心から哀悼の意を捧げた。

OB会連絡先 (ワカバ会まで連絡いただければ、次回より掲載します)

部名	代表者又は連絡係	卒業回組	住所	電話番号
アメフト	大室論(照道)	20-6	品. 上大崎1-5-10	3441-8384
三筆会	篠根 章高	6-4	練. 高松6-12-3	3996-2674
ラグビー	藤村 賢一	11-6	杉. 桃井2-23-14	3397-6681
バドミントン	江口 洋平	43-8	品. 東大井4-8-10-605	3450-1176
弓 道	小島 章人	43-8	港. 三田2-8-20-510	3455-1675
管弦楽	戸簾 浩一	41-3	大. 東馬込1-37-5	3775-3890
バレーボール	小林 義徳	46-4	大. 本羽田3-14-22-405	3744-2163
水 泳	筒浦 裕司	44-5	大. 大森東4-38-15	3766-9794

戦後の私の歩み

3C 渋川美津

戦禍を逃れて、五十年、主人の公職追放により、教職経験二十五五年、退職後、いけばな教授活動二十年、現在、小原流会津支部の役員を致しております。二年前、当地に参り、教授活動を続けています。ボケ防止に美術史を勉強したり、書道教室に通い、通信教育を受講しています。朝顔や菊の鉢植栽培の朝夕の手入れも楽しみの一つです。老人クラブでは庶

特集
同窓生の活躍

今回は卒業回数末尾が3と6の方に
原稿をお願いしました。

八十路の近況

6才 門多智恵子



螢の光
を歌って
なつかし
い学び舎
を去って
はや六十
二年が経

ちました。卒業後女子医専(現東邦医大)に進み、その後産婦人科医と結婚、麻布二ノ橋に開業して居りましたが昭和二十年五月東京大空襲ですべてを失い夫の郷里愛媛県に参り日本列島最西端の宇和高原に開業致しました。子供はなく大病後は十三年間独りで内科小児科を続け本年六月一日より(亡夫の甥が近くに病院を開設しましたので)勤務医となって毎日通院して居ります。やっと気楽になり



務を担当し、ボランティアでお花を指導しています。
残り少ない余生を有意義に過ごしたいものと願っています。

ました。景色のよいところです。ワカバ会の山荘のつもりでおいで下さる方がございましたら歓迎致します。

歌手生活五十年

13イ 石井好子



学校を出ましてから長い年月がたちました。

私は敗戦の秋から歌いはじめましたので、この秋で歌手生活五十年になります。十一月十七・十八日浜離宮朝日ホールで「歌手生活五十年記念 石井好子の夕べ」を催しますので、同窓生の方がいらして下さったら幸いです。

いろいろ辛い時もありましたが、現役で、歌える事を有りがたく思っております。

第六高女時代の友人とも今も仲よくおつき合ひさせていただいている事も大きな喜びでございます。

点字にかかわって

16ア 田舎光恵

「点字」御存じですか。目の見えない方の文字です。このボランティアにかかわってもう二十年になります。初めは点

字板で一字一字打って居りましたが今ではパソコンをフルに使って打って居ります。目の見えない方々から教わる事が沢山あります。何時も明るく努力家です。多摩市内は勿論遠い所にも沢山の点字の友が出来ました。学生さんとの交流は学生時代を思い出します。私の一生の仕事になるでしょう。その他十人位の方々と「折紙」を楽しんでおり又最近陶芸も始め卒業以来五十年になりますが多忙に過ぎして居ります。健康は第六から貰いました有難い事です。

徒然なるままに

高女23-5 杉崎悦子



開業して四十年にもなる店を主人と、近頃は老体に鞭打って支えている毎日だけれど昨今の喫茶店経営は色々難しくて気が休まらない。御客様は神様と言うけど時には貧乏神も。

そこで時折、親しい友と飛行機の切符とユーレルパスのみ購入して気まま旅に出るが、ボケ防止も兼ねて続けている。仏語「結構役立つ。私達の時代は英語を廃止した学校もあった様だが、我が第六は廃止どころか第一外国語まで選択させ

られ、選んだ伝語は、その頃良く理解できず「いやだ」と思いながら終わってしまっただけ、あの時たゞと少しでも学べた事、今とても感謝している。学生の頃苦手と思ったテストも卒業してから車の免許に始まってアマチュア無線免許、調理師免許等資格を取り、それぞれ楽しく活用している今日この頃の私である。

我が桃源郷は 吹代池の畔にあり

6-3 直井輝雄



三田高を巣立って早や四十余年、今やつと安住の地を千倉に見いだし、かねて

からの夢である田舎暮らしを実現すべく、ついすみかを建築中なり。

私は歌舞伎座の背景画を三十五年間画いて来ましたが、これからは自由に絵を画くつもりです。

来年一月から安房郡丸山町沓見字吹代765-1に移り住み、EM(有用微生物)に依る土作りをし、花、野菜、ハーブ作りを楽しむ、等々。

興味のある方は連絡して下さい。

備えあれ

13-3 与五澤和良

テレビ・ラジオの天気予報で皆様を惑わして25年。今では、月刊誌「気象」の

編集を担当し、防災知識の普及・啓蒙に努力する罪滅ぼしの毎日を送っています。早いもので気象業務に携わって30年経ちましたが、社会的ニーズの変遷や電算機の発達で天気予報も大きく変わりました。

今年1月には「兵庫県南部地震」が起き、目を覆うばかりの悲惨な状況でした。地震災害を含め、あらためて日頃からの防災業務の重要性が浮き彫りにされた感じでした。

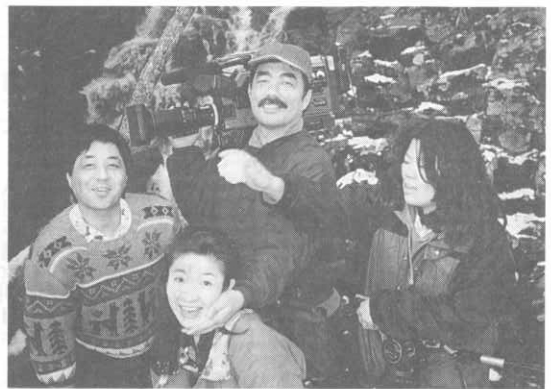
同窓生で被害に会われた方々に心からお見舞い申し上げます。幸い被災されなかった皆様も避難場所の確認や防災グッズの点検を是非もう一度お確かめ下さい。必ず来る災害に備え、日常のご用意をお忘れなく。

ああ！五十歳

16-3 山田伸二

毎日というわけにはいかないが、楽しみのひとつに犬の散歩がある。我が家に五年前やってきた柴犬を連れてのわずかな30分程度の散歩ではあるが、これが意外と自然の移り変わりを実感させてくれる。倉敷市といっても中心部からちよつと離れると田園風景がひろがる田舎である。田畑の様子、鳥のさえずり、風のささやき、車社会では見のがしてしまいうなわすかな変化を犬の散歩は感じさせてくれるのです。

それにしても今年も又、暑い夏でしたが、青田をゆらす日ぐれの風はひんやり



としてすでに秋がやってきていることを教えてくれるこのごろです。

日土のかけ橋となつて

23-6 所司真理子エルドアン



一九七九年にイスタンブールへ渡つて以来、教師を続けております。月曜から金曜までは国立ボアジチ(ボスポロス)大学、土曜日は補習校で教鞭をとっています。ボアジチ大学で日本語講座は、必

修選択科目です。よって、大学に籍を置く全ての学生が履修できます。教育は英語でなされているので、自己の専門の他英語、そして日本語も堪能な、トルコの将来に有用な人材を育成している。それが私の誇りです。昨年、慶応大学と姉妹校になりました。又、下関市と姉妹市の御縁から、下関市立大学に留学生を送り続けています。

清水寺

33-3 渡辺由里子

八月末になつてようやく取れた夏休み的一天を、今年も京都で過ごした。京都の中で私の一番好きな場所清水寺。三筋の滝を伝って流れ落ちる音羽の滝の水には、それぞれ「学業成就」「若返り」「病氣平癒」のご利益があると言われている。三田の修学旅行で初めてここを訪れた頃は頭の中は進学のことで一杯で、三筋のうちのどれが「学業成就」の水なのか、回りの観光客にまで尋ねたことが懐かしく思い出された。



いつかまた、一緒に旅行する時間を持てる時がきたら、あの頃の仲間と清水寺を訪れてみたい。しかしその時、気分だけは女子高生に戻って、また回りに尋ねるのだろうか。「ねえ、若返りの水ってどれ？」

大阪で夢を叶えがんばってます

36-4 馬野雅行

「アナウンサーになりたい」高校時代からの夢を、大阪・毎日放送で叶えて六年が経ちました。

週の前半は、近畿二府四県に放送される夕方六時半からのニュース番組「MBSナウ」を、週の後半はプロ野球・サッカー・ラグビーなどのスポーツ中継を担当しています。

今年一月、報道マンとして、そして被災者として阪神大震災に遭遇しました。連日大阪から被害状況を伝えていましたので、御覧になった方もいるかもしれませんね。天災は忘れた頃にやってくる。御用心を!!

看護婦の道を選んで

43-6 塩田美加



私は、この四月から看護婦として働き始めたが、やはり「忙

しい」というのが正直な感想だ。実習レポート、試験の山に追われていた学生時代は絶対働く方が楽だ等と考えていたが、非常に甘かったことに気が付いた。高校時代から続けてきた陸上もなかなか取り組めず、休日も身体を休めるためだけのものとなってしまった。

だが看護婦になって決して後悔はしていない。この仕事は、本来であれば街でただすれ違うだけのような人々とかかなり深く知り合うことができる。患者さん達は皆、病を持っているだけに考えていることは奥深い。そのような人々と触れ合うことの出来る看護婦は、日々が勉強であり、自己の成長へとつながる素敵な仕事だと私は気が付き始めた。

サッカー一筋

46-2 小室孝之

三田高校を卒業してはや二年。一年間の浪人生活の末、やっと大学へ入学できた僕は、サッカー向けの毎日を送っています。部活動のために遊ぶ事もできません。勉強も疎かになりがちですが、これも一つの社会勉強だと思い、毎日ボールを追いかけています。

部活を通じて友達もできました。私生活では仲が良くてもグラウンド内ではライバルであり、又、教えたり教わったりする事も学びました。

大学へ入り一年目。まだまだ大学生活は長いので、これからもボールと戯れながら色々な発見をしていきたいです。

浪人時代

46-4 小林辰夫

私は高校時代の三年間は部活（サッカー）ばかりはつきりやっていました。だから、あまり高校時代、勉強しませんでした。部活を三年生の春に引退した後も今まで部活のためにあまり自由な時間がなかったので色々遊んでしまい、結局現役の時は大受受験に失敗して、一年間浪人というものを経験しました。この浪人時代を振り返ってみると、これらの自分の人生にとっていい経験だったと思います。もちろん、勉強もしました、いろいろなことを考え、友達と話があったりして、自分のものの考え方が少

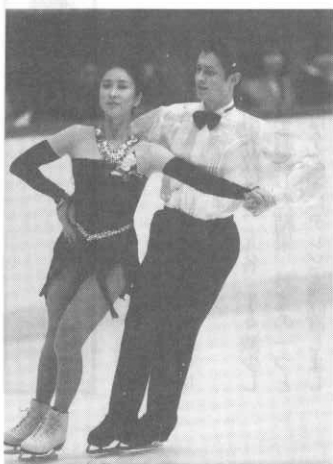
し成長できたと思えたからです。現在は一応、希望の大学に合格でき忙しい生活をしています。あの一年間は自分にとって貴重な時間であったと今でも思っています。

アイスダンスパートナーは外国人

46-6 都築奈加子

94年幕張世界大会後、ラトビア国籍の新パートナーを得て、現在NYの山奥レイクブラシッドでトレーニングを重ねています。

95年1月全日本大会に優勝し、パミシオンガム世界大会日本代表決定に喜びましたが、ISU規約の外国人日本居住期間が不十分で、間際に取り消されました。二か月間落ち込みましたが、今はまたシッシツと滑り、96年世界大会出場を目指しています。しかし長野オリンピックに関しては、IOCは認めているのに、JOCが外国人参加を認めてませんので非常に不安です。どなたか助けて下さい。



総会報告

第五十八回ワカバ会総会は、平成七年五月二十一日(日)午後一時より、母校音楽講堂に於いて開催された。定数数百名に對して二三名の会員が出席、小野会長を議長に選出して次の議案が承認可決された。

- 一、平成六年度事業報告・決算
- 一、平成六年度監査報告
- 一、平成七年度事業計画・予算案
- 一、評議員改選 議長一任

報告の中で本年度は丸山奨学金の運営の仕方、新しいあり方を会計委員会として考えた旨説明がつけ加えられた。次いで午後一時五十分より懇親会にうつり、食事をとりながら歓談。恒例の福引大会は昨年度好評だった各種カード類が沢山用意され、なごやかに盛会に会は進行して三時四十分には散会となった。会半ば今日の出席者名簿が配られ好評。



平成6年度決算・平成7年度予算

科 目	平成6年度決算額	平成7年度予算額
I. 収入の部		
① 基本財産運用収入	2,373,645	1,800,000
② 会費・入会金収入	8,040,000	8,285,000
③ 事業収入	5,309,910	5,600,000
④ その他収入	7,623,044	10,600,000
当期収入合計 (A)	23,346,599	26,285,000
前期繰越収支差額	58,195,831	62,065,073
収入合計 (B)	81,542,430	88,350,073

科 目	平成6年度決算額	平成7年度予算額
II. 支出の部		
① 事業費	9,019,596	13,743,000
② 管理費	9,424,180	11,860,000
③ その他支出	1,033,581	420,000
当期支出合計 (C)	19,477,357	26,023,000
当期収支差額 (A)-(C)	3,869,242	262,000
次期繰越収支差額 (B)-(C)	62,065,073	62,327,073

総務委員会

平成六年度より事務所にパソコンが導入され、名簿・会費の管理をはじめ会務が大変効率的になりました。事務局スタッフも新規に募集、採用して19回星名、21回鈴木の名に加わって頂き、現在五名が交替で事務にあたっています。またパソコンについては、8回宇野・40回小針の男性の方に尽力頂いています。平成七年度も引続きパソコンの活用重点を置いて改革を進めます。

委員長 竹内 和世 (5-4)

高橋 登志 (1-E)

鈴木美智子 (9-3)

平山 孔嗣 (29-2)

企画委員会

平成六年度の鳥山、那須方面の旅行では馬頭町にお住いの木村様(26-5)から昼食に鮎のフライのお差し入れがあり、七年二月の旅行では吉野山の如意輪寺御住職夫人の加島様(17才)に御世話になりました。毎年訪れる先々で、その地で御活躍の同窓生の方にお目にかかれるのは誠に楽しく心強いことです。今年の企画は春発行の「わかば」に掲載したので皆様奮って御参加下さい。

委員長 佐々木 昭 (5-A)

瀧本阿彌子 (13-I)

中村左都子 (7-2)

委員会報告

事業運営委員会

平成六年度軽井沢山荘及び鶴の木駐車場運営について報告します。

山荘の利用者数は七二九名。年々減少している原因を調査した結果、対策の一つとして、本年は全部屋にテレビを設置しました。これにより利用者数が増える事を期待しております。(本年は八〇一名利用)

駐車場は順調に運営されており、八月三十一日現在、二六台が契約中で、二台分未契約です。

委員長 山口謙一郎 (8-1)

杉本貴久子 (16才)

竹内 和世 (5-4)

齋藤 節子 (7-3)

中垣 俊二 (8-2)

会計委員会

平成六年度も特別の出費を伴う大きな事業はありませんでしたが、会計委員会は、今年度も例年どおり毎月の諸々の収支のチェック及び決算書、予算案の作成などの業務を処理しております。

委員会の開催日は、昨年四月二十六日、十月六日、十一月十六日と本年三月二十二日でした。

委員長 笠原 俊也 (15-4)

松永佐智子 (12-E)

茨木 万理 (19-E)

齋藤 節子 (7-3)

平山 孔嗣 (29-2)

広報委員会

昨年からワカバ会総会の出席者名簿の当日配布をはじめました。

「わかば」37・38号の編集をいたしました。年2回発行となつて初めての秋号となります。いかがでしたか。ご意見、ご感想をお聞きたいと思ひます。

委員長

小川しげみ (7-7)
小針 淳 (40-3)
押原 建三 (40-8)
田中 浩 (32-5)
柳沢 孝子 (22-2)
戸田 雅子 (19-1)
等原 俊也 (15-4)
中垣 俊二 (8-2)

理事会等報告

平成6年度

4月 理事会 出席15名
○決算・予算案、総会準備、会報発行、事務スタッフ増員について等。

5月 評議員会 第57回総会
評議員会 (14日) 出席60名 (含委任状)
○総会議案承認、総会当日の支援。
第57回総会 (22日) 出席一三三名
○総会後、親睦会食、福引等。

7月 理事会 出席13名
○各委員会報告 山荘補修工事、事務スタッフ採用の件等。

10月 理事会 出席11名

○各委員会報告 パソコンは基本事項入力済。パソコン委員会設置 (理事2名、委員2名、パソコン事務スタッフ1名増員)。

11月 理事会 出席10名

○各委員会の報告 会報発送用窓付封筒・会費払込用紙作成の検討。

1月 理事会 出席14名

○各委員会報告 パソコンのデータ保護保管、会報年2回発行等。

3月 理事会 出席11名

○各委員会報告 平成7年度予算案 阪神震災見舞、会報は春は連絡事項を、秋は読物を主として発行。

平成7年度

4月 理事会 出席14名

○決算・予算案成立。監事改選、総会準備、会報発送等。

5月 評議員会 第58回総会

評議員会 (13日) 出席65名 (含委任状)
○総会議案承認 監事選出は会長に一任。総会当日の支援等。

第58回総会 (21日) 出席一三四名

○議事終了後、懇親会食、福引等。

6月 理事会 出席13名

○各委員会報告 監事一名選任の件 慶弔規定。山荘運営等。

9月 理事会 出席13名

○各委員会報告 山荘閉荘、わかば秋号発行について等。次回は11月の予定。

以上

追悼

謹んでご冥福をお祈りいたします。

(敬称略)

所屬	没年月	所屬	没年月
井口 美智 (福神)	(旧職員) 7・5	甘泉 祝子 (高橋)	11ウ 5・8
高橋百合子	(旧職員) 7・5	荒川 賀世	12ア 7・3
宮田 リキ (小倉)	1C 4・8	平川 房子 (高須)	12イ 6・12
奥友 享子 (高橋)	1E 7・3	平田 タカ (村田)	12ウ 7・5
小栗百合子 (原)	1E 6・8	中田 喜久 (上南)	15イ 4・11
菅野 寿子 (久保田)	3C 6・10	船橋 勝子 (鈴木)	20エ 6・10
滝浪 ミヨ	3C 7・4	梶原千恵子 (斉藤)	21イ 5・9
前田 光 (千葉)	4エ 6・7	渡辺 和子 (関野)	21イ 5・2
安達 幸子 (荻野)	4オ 7・5	吉田 史子 (中田)	23イ 6・8
寺坂 初子 (秋水)	5ア 6・11	渡辺 雅美 (坂部)	23イ 6・5
芦田富久子 (山内)	5イ 7・4	加藤 英子	1 5・12
中西 朝枝	5エ 7・2	安井 昌平	6 6・12
小嶋美恵子 (古川)	5エ 7・2	吉原 義人	7 7・6
澤村 直子 (滝)	6エ 7・1	向後 照子 (高橋)	7 3 6・6
三島 なほ (河井)	6エ 7・4	中村 道子	8 3 5・4
鹿討 繁子 (阿部)	7ア 6・11	稲津 順子 (荻野)	8 3 5・9
平野登美子 (島岡)	7ア 7・4	高雄 淳	8 4 S 63・7
五島 直 (秋元)	7イ 6・7	池村 泰子	15 6 7・5
森 貞子 (古岩井)	7ウ 4・12	村田 紀子 (富岡)	27 2 7・6
清水 キク (盛)	8イ 6・4	小島 久典	38 1 6・11
吉武 政子 (渡鹿島)	9ア 6・1		
菅間 和子 (菅間)	10ア 4・9		
桃沢 フミ	10ウ 5・11		
大坪 葉子 (小林)	10エ S 59・12		



維持会費納入のお願い

毎年維持会費を納入して下さい、ご協力ありがとうございます。

この度ワカバ会事務所にパソコンが導入され、本年度から払込票に皆様の住所、氏名等を記入してお届け出来るようになりました。

郵便局での払い込みが簡単になりましたので今年も維持会費の納入をお願い致します。

維持会費 2,000円

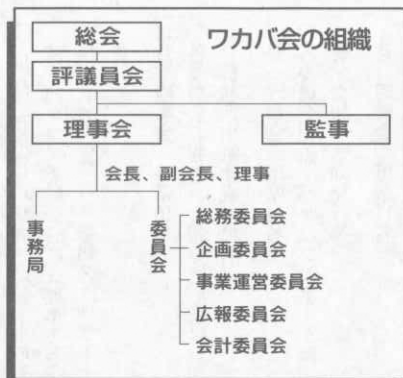
ワカバ会の維持会費

以前に終身会費を納入された方から質問が寄せられましたが、この維持会費の制度は、昭和60年に「会費制度を考える会」によって、ワカバ会の将来について良く検討した結果出来た制度です。

維持会費は、一年ごとの任意で御納入いただくことになっておりますし、過去の分をさかのぼってお願いすることはございません。

ワカバ会は主に会費収入により運営されております。

どうかご理解いただきまして、今年もご協力お願いいたします。



＝強引な名簿・広告業者にご注意！＝

本同窓会ワカバ会は現在は、卒業時の会費と、上に説明しました維持会費のみ会員の皆様にご協力いただいております。

寄付をお願いいたします時は別に寄付の趣意書などをつくってお願いしています。(過去にワカバ会山荘建設の時など)他の名簿業者や広告業者の広告依頼や寄付依頼と混同なされないようご注意ください。



編集後記

年2回体制の「秋号」ができました。今回は前回から持ち越しの原稿もあり、時期を逸したものや、ポイントが小ぶりで、申し訳ありませんでした。

急な原稿依頼に快く応じて下さった会員の皆さまに心から感謝します。皆さまのご感想、ご意見、ご要望をお寄せ下さい。多くの会員の方が関心のもてる内容にしていきたいと思っています。

いつでも、何でも、ワカバ会へご一報を！

■ 事務所だより ■

維持会費納入について

本年も維持会費の納入にご協力をいただき、ありがとうございます。

1月の大震災で被害を受けられた阪神地方の会員の方からも早々と会費をお送りいただいて恐縮しております。厚く御礼申し上げます。

名簿管理にご協力を

第36号で同封の不明者名簿をご覧の皆様から、多くの情報が寄せられ、成果がありました。ありがとうございました。移転その他で住所、氏名、電話番号、住所表示が変わった時は、必ずワカバ会事務所へご一報下さい。郵送・電話・FAXいずれでも結構です。クラス会、同期会、OB会等で新しい名簿を作られましたら、ぜひワカバ会へも1部お送り下さい。

前年度よりパソコンが導入され、名簿管理がより正確になりました。同期会、クラス会、OB会の幹事さん方のお問い合わせ、宛名プリントアウト(有料)などのご相談に応じます。FAXも活用してください。

東京都立三田高等学校同窓会
社団法人 ワカバ会

◆ワカバ会の事務

時間 午前10時30分～午後4時

休日 土曜日・日曜日・祝祭日

◆住所 〒108 港区三田1-4-46

電話 (03) 3451-0227

FAX (03) 3452-4590